

議 事 日 程

令和6年第1回定例会市会第7日
令和6年5月9日午後2時開議

（報 告）議会の委任に基づく市長専決処分の報告について
監査の結果に関する報告について

第1 議席の一部変更の件

第2 市会副議長辞職の件

第3 市会副議長選挙の件

神 戸 市 会 議 長

出席議員（65名）	欠	員（0名）
1 番 前 田 あきら 君		2 番 森 田 たき子 君
3 番 岩 谷 しげなり 君		4 番 の ま ち 圭 一 君
5 番 な ん の ゆうこ 君		6 番 原 直 樹 君
7 番 木 戸 さだかず 君		8 番 浅 井 美 佳 君
9 番 岩 佐 けんや 君		10 番 萩 原 泰 三 君
11 番 坂 口 有 希 子 君		12 番 香 川 真 二 君
13 番 村 上 立 真 君		14 番 上 原 み な み 君
15 番 つ じ や す ひ ろ 君		16 番 川 口 ま さ る 君
17 番 さ と う ま ち こ 君		18 番 な が さ わ 淳 一 君
19 番 山 本 の り か ず 君		20 番 黒 田 武 志 君
21 番 か じ 幸 夫 君		22 番 や の こ う じ 君
23 番 大 野 陽 平 君		24 番 平 野 達 司 君
25 番 上 畠 寛 弘 君		26 番 細 谷 典 功 君
27 番 宮 田 公 子 君		28 番 門 田 ま ゆ み 君
29 番 朝 倉 え つ 子 君		30 番 味 口 と し ゆ き 君
31 番 赤 田 か つ の り 君		32 番 三 木 し ん じ ろ う 君
33 番 外 海 開 三 君		34 番 住 本 か ず の り 君
35 番 高 橋 と し え 君		36 番 諫 山 大 介 君
37 番 伊 藤 め ぐ み 君		38 番 吉 田 健 吾 君
39 番 岡 田 ゆ う じ 君		40 番 植 中 雅 子 君
41 番 五 島 大 亮 君		42 番 山 下 て ん せ い 君
43 番 し ら く に 高 太 郎 君		44 番 河 南 忠 和 君
45 番 徳 山 敏 子 君		46 番 高 瀬 勝 也 君
47 番 あ わ は ら 富 夫 君		48 番 西 た だ す 君
49 番 大 か わ ら 鈴 子 君		50 番 森 本 真 君
51 番 松 本 の り 子 君		52 番 大 井 と し ひ ろ 君
53 番 平 野 章 三 君		54 番 よ こ は た 和 幸 君
55 番 川 内 清 尚 君		56 番 松 本 し ゆ う じ 君

57 番 山 口 由 美 君
59 番 坊 池 正 君
61 番 坊 や す な が 君
63 番 菅 野 吉 記 君
65 番 吉 田 謙 治 君

58 番 平 井 真 千 子 君
60 番 村 野 誠 一 君
62 番 堂 下 豊 史 君
64 番 壬 生 潤 君

議事に参与した事務局職員

市会事務局長 村 井 秀 徳 君
議 事 課 長 竹 下 弘 一 君
政 策 調 査 課 長 久 保 阿 左 子 君
議 事 課 係 長 宮 田 義 隆 君

市会事務局次長 河 端 陽 子 君
総 務 課 長 神 谷 俊 幸 君
議 事 課 係 長 高 木 智 博 君

出席説明員

市	長	久元喜造君			
副市	長	今西正男君	副市	長	小原一徳君
副市	長	黒田慶子君			
教	育	長	福本靖君	選挙管理委員会 委員長	安達和彦君
人	事	委員	会長	芝原貴文君	監査委員
市	長	室	長	岡本康憲君	危機管理監
企	画	調	整	局長	辻英之君
行	財	政	局	長	西尾秀樹君
福	祉	局	長	八乙女悦範君	健康局長
こ	ど	も	家	庭	局長
中	山	さ	つ	き	君
環	境	局	長	柏木和馬君	
建	設	局	長	小松恵一君	
理	事	兼	都	市	局
都	市	局	長	山本雄司君	都心再整備本部長
建	築	住	宅	局	長
根	岸	芳	之	君	港湾局長
消	防	局	長	栗岡由樹君	水道局長
藤	原	政	幸	君	
交	通	局	長	城南雅一君	教育委員会事務局長
高	田	純	君		
選	挙	管	理	委	員
事	務	局	長	長谷英昭君	監査事務局長 兼人事委員会 事務局長
中	田	裕	子	君	
会	計	室	長	久戸瀬修次君	行財政局副局長
安	居	大	樹	君	

(午後2時0分開議)

(坊議長議長席に着く)

○議長(坊 やすなが君) ただいまより本日の会議を開きます。

最初に、諸般の報告を申し上げます。

報道機関による傍聴席での撮影及び録音の許可についてであります。時事通信社より本日の本会議の様態を撮影及び録音したい旨の申出があり、許可いたしましたので御報告申し上げます。

次に、議場出席説明員に異動がありましたので、順次御紹介申し上げます。

教育長、福本 靖君。

(自席で起立)

理事兼都市局都心再整備本部長、中原 信君。

(自席で起立)

地域協働局長、三重野雅文君。

(自席で起立)

福祉局長、八乙女悦範君。

(自席で起立)

選挙管理委員会事務局長、長谷英昭君。

(自席で起立)

監査事務局長兼人事委員会事務局長、中田裕子君。

(自席で起立)

以上、紹介を終わります。

次に、市長より、本日付をもって「議会の委任に基づく市長専決処分の報告」が、また監査委員より、4月26日付をもって「監査の結果に関する報告」がそれぞれ提出されましたので、いずれもお手元に送付いたしておきましたから、御了承願います。

以上、報告を終わります。

これより議事に入ります。

○議長(坊 やすなが君) 日程によりまして、日程第1 議席の一部変更の件を議題に供します。

本件は、会派の異動に伴い、議席の一部を変更しようとするものであります。

お諮りいたします。

本件は、お手元の議席表のとおり決しまして、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(坊 やすなが君) 御異議ないと認めます。

それでは、さように決定いたしました。

○議長(坊 やすなが君) 次に、日程第2 市会副議長辞職の件を議題に供します。

この際、申し上げます。本件については、地方自治法第117条の規定により、該当の方は除斥されることになっておりますので、御退席願います。

(河南副議長退場)

○議長(坊 やすなが君) 本件は、本日付をもって河南副議長より、市会副議長を辞職したい旨の申出がありましたので、お諮りするものであります。

お諮りいたします。本件辞職願は許可することに決しまして、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(坊 やすなが君) 御異議ないと認めます。

よって、河南副議長の辞職願は許可することに決定いたしました。

(河南前副議長入場、議席に着く)

○議長(坊 やすなが君) この際、前市会副議長の御挨拶がございます。

44番河南忠和君。

(44番河南忠和君登壇)

○44番(河南忠和君) 副議長を退任するに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

昨年の5月12日に皆様の御推挙をいただきまして、副議長に就任させていただきました。それから、今日まで大過なく副議長の職務を果たすことができましたのも、ここにいらっしゃる皆様の御指導と御協力のたまものだと思っております。本当に感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染法上の位置づけに変更があり、それから大きく社会が

変わりました。1つの節目があったと思います。ポストコロナ社会の社会課題に我々は取り組んでまいった1年だと思っております。

日本は人口減社会ではございますが、この神戸に住んでよかった、神戸で働いてよかったと思えるようなまちづくりを行う必要があります。

私は副議長を退任いたしまして、一議員として市民の負託を受け、そしてその責務をこれから果たしていけるよう努力してまいる所存でございます。

最後になりますが、私の任期中、お支えいただきました全国市議会議長会会長の坊 やすなが議長、そして議会運営に協力いただきました議員各位、そしてお支えいただいた議会事務局、そして神戸市当局の皆様、改めまして感謝の気持ちをお伝えしまして、私からの退任の御挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。(拍手)

(44番河南忠和君降壇)

○議長(坊 やすなが君) 河南前副議長の御挨拶は終わりました。

○議長(坊 やすなが君) 次に、日程第3市会副議長選挙の件を議題に供します。

本件選挙の方法は、単記無記名投票により決します。

直ちに議場の出入口を閉鎖いたします。

(閉扉)

○議長(坊 やすなが君) これより投票用紙を配付いたします。

(投票用紙配付)

○議長(坊 やすなが君) 投票用紙の配付漏れはございませんか。

(なし)

○議長(坊 やすなが君) 配付漏れなしと認めます。

投票箱の点検をいたします。

(投票箱点検)

○議長(坊 やすなが君) それでは、1番前田あきら君より順次投票願います。

(投票)

○議長(坊 やすなが君) 投票漏れはございませんか。

(なし)

○議長(坊 やすなが君) 投票漏れなしと認めます。

よって、投票は終了いたしました。

これより開票をいたします。

開票立会人を指名いたします。

前田あきら君、

岩谷しげなり君、

木戸さだかず君、

浅井美佳君、

岩佐けんや君、

以上5名の方を御指名いたします。

それでは、開票立会人の方はお願いいたします。

(5立会人立会・開票)

○議長(坊 やすなが君) 開票結果を御報告申し上げます。

出席議員数 65名

投票総数 65票

有効投票 65票

無効投票 0票

有効投票中

堂下豊史君 38票

ながさわ淳一君 16票

森本 真君 9票

香川真二君 2票

以上であります。

よって、堂下豊史君が当選されました。

議場の閉鎖を解きます。

(開扉)

○議長(坊 やすなが君) この際、副議長の御挨拶がございます。

62番堂下豊史君。

(堂下副議長登壇)

○副議長(堂下豊史君) 副議長就任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいま格別の御支援により、副議長の要

職に御推挙いただき、心から厚く御礼申し上げます。

来年1月には、阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。

神戸はこれまで国内外から多くの御支援をいただき、市民が力を合わせ、共に助け合うことで復興と発展を果たしてきました。

神戸が他の地域に貢献できる都市であり続けるため、私たちはこの震災から得た経験や教訓を継承していく必要があります。

また、本市を取り巻く環境が変わりつつある中、私たちは人口減少時代という現実と向き合い、将来の神戸を見据えた、時代にふさわしいまちづくりを展開していく必要があります。

そのような中、議会に対する期待は日々高まっており、本市会といたしましても積極的に施策を提案するとともに、市民の信託に応えていくことがより一層求められております。

私たちは市民の代表として、議会の活動を通じ、将来の神戸の発展のために一層の努力を重ねていかなければなりません。

このような重要なときに当たりまして、微力ではありますが、坊議長を補佐し、共に職責を果たせるよう、できる限りの努力をしまいる所存であります。

皆様方におかれましては、今後一層の御指導・御鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

以上、誠に簡単粗辞ではありますが、就任の御挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。（拍手）

（堂下副議長降壇）

○議長（坊 やすなが君） 堂下副議長の御挨拶は終わりました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

この際、申し上げます。

次回本会議は、来る5月15日午前10時に開きます。

なお、ただいま在席の各位には、文書によ

る開議通知は省略させていただきますので、さよう御了承願います。

本日は、これをもって散会いたします。

（午後2時20分散会）

神戸市会議長 坊 やすなが ⑩

神戸市会議員 諫 山 大 介 ⑩

神戸市会議員 伊 藤 めぐみ ⑩

神戸市会事務局長 村 井 秀 徳 ⑩

神戸市会会議録（令和6年第1回定例市会第7日）